

令和5年9月八戸市議会定例会一般質問(教育委員会事務局分)

(9月11日、12日、13日 3日間)

○9月11日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
公明党 土嶺 直樹	2 ヤングケアラーについて	(4) 教職員の研修について	総合教育センター	1
新緑・無所属の会 伊藤 圓子	3 地区公民館等への冷房設備の設置について	(1) 冷房設備の現状等について	社会教育課	2
		(2) 冷房設備の設置について	社会教育課	3

○9月12日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
自由民主・無所属クラブ 山之内 悠	2 教育行政について	(1) 保護者連絡アプリについて	総合教育センター	4
		(2) 勤務時間前の朝自習について	学校教育課	6
自民クラブ 岡田 英	2 コミュニティ・スクールについて	(1) 地域密着型教育の成果と課題について	教育指導課	8
		(2) コミュニティ・スクール導入の理由について	教育指導課	9
		(3) 導入に向けたスケジュールについて	教育指導課	10
	3 八戸市奨学金について	(1) 成果と課題について	学校教育課	12
(2) 給付型奨学金の拡充について		学校教育課	13	
自民クラブ 長谷川 ひろゆき	2 教育行政について	(1) STEAM教育について		
		ア 教材の内容と活用方法について		
		イ 意義と今後の展望について	教育指導課	17
		(2) 八戸市博物館展示リニューアル事業について	博物館	18

○9月13日(水)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
きずなクラブ 三浦 博司	2 教育行政における暑さへの対応について	(1) 小中学校の冷房設備について		
		ア 事業の進捗状況について		
		イ 特別教室など全ての部屋に冷房設備を完備する考えについて	教育総務課	20
		(2) 夏休み期間について	学校教育課	21
		(3) 学校における労働安全衛生の管理体制について	学校教育課	22

質問者(議員名)	土嶺 直樹 議員
発言事項	2 ヤングケアラーについて
発言の要旨	(4) 教職員の研修について
質問内容	教職員向けの研修会の実施状況について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であり、さらには、児童生徒自身やその家族に自覚がない場合も多く見られ、支援が必要なケースであっても表面化しにくい状況がある。</p> <p>そのため、学校生活において児童生徒と接する時間が長く、日々の変化に気付くやすい立場にある教職員が、ヤングケアラーに対する理解を深めることが重要であると考えている。</p> <p>市教育委員会では、これまで小中学校の生徒指導教育研究会において、「ヤングケアラーの早期発見・把握につなげるための教育相談の必要性」等について周知を図ってきた。</p> <p>さらに、市総合教育センターが開催している研修講座においても、「ヤングケアラーに気付くための内容を組み入れた研修」を行っている。</p> <p>今年度、講座を受講した教員からは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者の困り感に気付くためには、様々な観点で情報収集を行うことが大切である ・同僚や、県・市の関係機関と一層の連携を図っていきたい <p>などの感想が寄せられている。</p> <p>市教育委員会としては、今後も、ヤングケアラーについて教職員の理解促進を図られるよう、各学校における教育相談体制の一層の充実を図るとともに、継続して研修会を開催していく。</p>
担当課	総合教育センター



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	3 地区公民館等への冷房設備の設置について
発言の要旨	(1) 冷房設備の現状等について
質問内容	地区公民館における活動の現状と冷房設備の設置状況について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>地区公民館における活動の現状については、コロナ禍以前の日常を徐々に取り戻しつつあり、生涯学習や地域コミュニティ活動も次第に回復している。</p> <p>地区公民館 24 館における今年 7 月～ 8 月の利用件数は約 4,500 件、利用者数は約 62,000 人となっており、昨年同時期の 4,200 件、51,000 人と比較して増加していることから、活動が活発化しているものと捉えている。</p> <p>一方で、この夏の厳しい暑さの影響から、各種活動の中止や延期、貸室の使用時間や場所の変更といった事例も見受けられる。</p> <p>冷房設備の設置状況については、厳しさを増す暑さ対策として、令和 2 年度に全ての公民館の事務室に冷房設備を設置し、3 年度には体調がすぐれない利用者の休憩場所として運用を開始したところである。</p> <p>しかしながら、和室やホールといった貸室については、9 か所の公民館の一部にしか冷房設備を設置しておらず、大半の貸室には冷房設備がない状況である。</p>
担当課	社会教育課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	3 地区公民館等への冷房設備の設置について
発言の要旨	(2) 冷房設備の設置について
質問内容	公民館活動等に支障がないよう冷房設備が必要だと考えるが、今後の方向性について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>近年、夏季の平均気温は長期的に上昇傾向にあり、本市においても、今年6月～8月の平均気温が過去最高を記録するなど、平年より暑い日が続いている。</p> <p>地区公民館は、市民の生涯学習や地域コミュニティ活動の重要な拠点であることから、冷房設備の設置は必要であると認識している。</p> <p>また、厳しい暑さによる外出頻度の低下は、公民館活動の停滞のほか、高齢者においては心身機能や活力の低下を招くことも懸念されるため、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう冷房設備の在り方を検討する。</p>
担当課	社会教育課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	可能であれば、来年の夏前に冷房設備を設置していただきたい。

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 保護者連絡アプリについて
質問内容	保護者連絡アプリ導入の目的、導入までの経緯と現状について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>導入の目的は、保護者と学校間における連絡手段のデジタル化により、迅速な情報共有を実現するとともに、保護者・教職員双方の負担軽減を図ることである。</p> <p>これまで、朝の欠席等の連絡において、感染症流行時に電話がつながりにくい状況になり改善を求める声や、不登校児童生徒の保護者が毎日連絡することへの心理的負担の軽減を求める声などがあった。</p> <p>そこで、セキュリティや操作性、経費等を総合的に検討した上で、安全な環境下で学校への欠席連絡や学校便り等の配信ができるアプリを、2学期から全ての市立小中学校へ導入した。</p> <p>本アプリを導入したことにより期待される効果は、次の3点である。</p> <p>欠席・遅刻の連絡をオンライン化することにより、保護者の連絡負担の軽減、さら</p> <p>には、教職員の負担も軽減される。</p> <p>学校便り等のデジタル配信により、保護者は迅速・確実に情報を受け取ることが</p> <p>でき、学校はペーパーレス化が図られる。</p> <p>アンケートをオンラインで行うことで、保護者はいつでもすぐに手元で回答でき、</p> <p>教職員は回収・集計作業が自動化される。</p> <p>導入に当たっては、試験的に4小中学校において運用を行った。</p> <p>その結果、学校からは「朝の電話の数がかなり減少した」、保護者からは「学校便り等が確実に手元に届く、アンケートの回答が楽である」等の声が寄せられている。</p> <p>運用に当たり、学校には本アプリの活用だけに終始せず、電話や対面での対応も併用するよう通知した。</p> <p>市教育委員会としては、各校の運用状況について情報収集しながら、本アプリの普及啓発に一層努めるとともに、今後も保護者と教職員の負担軽減に寄与する取組を進めていく。</p>
担当課	総合教育センター

再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	山之内 悠 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 勤務時間前の朝自習について
質問内容	勤務時間前の朝学習等の実態と、市として朝自習の開始時間を見直す考えがあるか伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>議員ご案内のとおり教員の時間外勤務については課題が多いと認識している。市教委が各学校に朝学習等の開始時間について調査をしたところ、教員の勤務開始時間と同じか、早めに設定している学校が複数あった。</p> <p>この背景として、近年共働き世帯が増え、両親の出勤の時間に合わせて始業時刻よりも早く登校する児童生徒が多いという実態がある。</p> <p>小学校を例に挙げると午前7時30分よりも早い時間に登校しないよう周知しているが、どうしても保護者の仕事の都合で、早く登校せざるを得ない児童が複数いる実態がある。</p> <p>このことについて、これまで小中学校では校長会において長年にわたって議論を続けているが、抜本的な解決には至っていない。</p> <p>学校によっては、やむを得ず交代で児童生徒を見守ったり、管理職が巡視したりして対応している。</p> <p>教員の出勤に合わせて児童生徒が登校、朝自習もゆとりをもって始められることが理想ではあるが、以上のような背景から結論は容易ではないと考えており、現時点で見直しは容易でないことが浮き彫りになっている状況である。</p> <p>市教委としては、今後も教員の働き方改革を校長会と連携し、教員の健康や命を守る取組を推進していく所存である。</p>
担当課	学校教育課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	<p>勤務時間外の電話対応について自動音声対応機能を導入する考えはあるか。</p> <p>8月28日、中央教育審議会特別部会がまとめた、長時間労働の是正に向けた緊急提言を受けての教育長の所感を伺いたい。</p>
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動音声対応機能の導入については、働き方改革にとって効果的な手段の一つであると捉えている。 ・令和4年12月に文部科学省が公表した「令和4年度教育委員会における学校の働き方改革のための取り組み状況調査」によると、留守番電話の設置やメールによる連絡対応の整備をすでに実施したとした市区町村は56.1%にのぼっている。 ・導入に当たっては、保護者の理解を得ること及び緊急時の連絡手段の確保が課題であると考えている。 ・市教委では課題を解決するため、校長会と連携しながら今後も検討を進めていく。

資料（提出様式）

	<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当市における教員の長時間勤務の状況については、改善傾向が見られるものの、依然として課題があることも事実である。 ・「教育は人なり」と言われるように、学校教育の根幹を支えるのは教員である。 ・教員の心身の健康を守り、支えることが、子ども一人一人の学びを支える魅力ある教育活動を展開していくためには極めて重要であるため、緊急提言の中で示された各種施策等を可能な限り実現していく。
--	---

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	2 コミュニティ・スクールについて
発言の要旨	(1) 地域密着型教育の成果と課題について
質問内容	地域密着型教育の成果と課題を伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>当市では、「コミュニティ・スクール」に類似した仕組みとして、平成 20 年度に「地域密着型教育推進事業」を立ち上げ、地域・家庭と連携・協働する中で「地域に開かれた学校づくり」を推進してきた。</p> <p>各学校においては、「地域学校連携協議会」において、地域住民や保護者より学校運営について意見や要望をいただくとともに、参観日や学校行事の様子を実際に参観していただき、それぞれの教育活動に対する評価をいただいている。</p> <p>さらに、各学校に配置された地域密着型教育コーディネーターが中心となり、より多くの地域住民や保護者が教育活動に参画できる機会を設けている。</p> <p>令和 4 年度はコロナ禍により教育活動が制限される中ではあったが、年間延べ 4 万人近くのボランティアに御協力をいただいた。</p> <p>これまでの本事業の成果は主に次の 2 点が挙げられる。</p> <p>1 点目は、地域住民や保護者からいただいた意見・要望を学校運営や教育活動に反映させることで、「開かれた学校づくり」を推進できた。</p> <p>2 点目は、地域人材や地域教材を活用した教育活動を積極的に導入したことにより、児童生徒の地域への誇りと愛着を育むことにつなげることができた。</p> <p>一方、課題としては、コロナ禍で学校と地域が交流する機会が減少したことや、学校支援ボランティアの高齢化等が挙げられる。</p>
担当課	教育指導課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	2 コミュニティ・スクールについて
発言の要旨	(2) コミュニティ・スクール導入の理由について
質問内容	コミュニティ・スクールを導入する理由は何か。そして、コミュニティ・スクール導入により、どのような学校の在り方を目指しているのかを伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>近年、当市においても、学校だけでは解決できない様々な問題が生じており、これまで以上に学校・地域・家庭が一体となって、共に子どもたちを守り、そして育てていくことが重要と痛切に感じている。</p> <p>このことから、これまで「地域密着型教育」によって積み上げてきた実績を基盤として、令和6年度より「コミュニティ・スクール」を導入し、共に子どもたちを育てる仕組みを一層推進したいと考えている。</p> <p>コミュニティ・スクールには、教育委員会に対して、学校や地域の課題解決に向けて教職員配置を要望できる機能があり、この機能も生かしながら、学校と地域・家庭が目標を共有し、課題解決に向けて取り組む体制を強化できることが期待される。</p> <p>子どもたちの健やかな成長を支えるためには、地域住民・保護者の当事者意識を一層高めることが重要である。</p> <p>関係者全員が目標を共有し、話し合うことで、学校や地域のニーズに応じた学習支援活動や、地域づくりに子どもたちが参加・貢献する活動などが一層推進されるものとする。</p> <p>このように、学校・地域・家庭が共に、様々な活動に取り組んでいくことは、これまで以上に「安全・安心で魅力ある学校づくり」はもちろんのこと、「地域づくり」、そして「まちづくり」にもつながるものである。</p> <p>コミュニティ・スクール導入を通して、元気な地域づくり、そして元気なまちづくりに貢献できる学校づくりを目指したいと考えている。</p>
担当課	教育指導課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	2 コミュニティ・スクールについて
発言の要旨	(3) 導入に向けたスケジュールについて
質問内容	コミュニティ・スクール導入に向けて、どのようなスケジュールで取り組んでいくのかを伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>市教育委員会では、令和6年4月から全ての市立小・中学校にコミュニティ・スクールの導入を目指している。</p> <p>そのため、既に校長会や県教育委員会、市連合父母と教師の会に導入の方針を伝え、各方面から情報収集を行いながら、導入に向けた準備を進めている。</p> <p>8月には、コミュニティ・スクールの先進校である横浜市立東山田中学校を、教育委員とともに視察訪問した。</p> <p>視察を通して、学校や地域の課題解決に向けて、校長の考えを明確に示した学校経営方針を策定する必要があること、学校と保護者、地域住民との率直な情報交換、情報共有により信頼関係を築くことが重要であることを確認した。</p> <p>また、10月には、文部科学省のコミュニティ・スクールマイスターを招聘した研修会を予定している。</p> <p>さらに12月には、臨時校長会を開催し、各学校に対し、令和6年4月からのコミュニティ・スクール導入に向けた体制づくりなど具体的な内容等を周知する予定である。</p> <p>市教育委員会としては、各学校を通じて保護者や地域住民にコミュニティ・スクールの趣旨や取組内容を丁寧に説明し、関係する皆様の理解と協力を得ながら、準備を着実に進めていきたいと考えている。</p>
担当課	教育指導課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	コミュニティ・スクール導入に向けて、どのようなことが課題となるか伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>コミュニティ・スクール導入に向けて、課題となることは、現時点で二つ考えられる。</p> <p>一つ目は、学校と地域・家庭の「つなぎ役」であるコーディネーターの業務拡充とスキルアップを図ることである。</p> <p>二つ目は、学校と地域・家庭が連携・協働して行う活動を推進するために、市教育委員会の各種支援を拡充することである。</p>

資料（提出様式）

	市教育委員会としては、各学校のニーズを把握しながら、活動を支援するために必要な措置を講じていく。
--	--

要望

要望の有無	有	無
発言内容(概要)	コミュニティ・スクール導入による「地域とともにある学校づくり」の推進を応援したい。そのために、コーディネーターの資質向上のための研修や予算措置をお願いしたい。	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 八戸市奨学金について
発言の要旨	(1) 成果と課題について
質問内容	八戸市奨学金制度の成果と課題について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>八戸市奨学金制度は、本市出身の優秀な学生及び生徒で経済的理由により修学困難な者に対し学資を貸与・給付する制度で、八戸市学生寮等跡地の土地貸付収入、寄附金、奨学金の償還金等を積み立てて造成した「奨学ゆめ基金」を財源に実施しているものである。</p> <p>昭和30年度に創設した同制度は、当初は貸与型の奨学金のみであったが、平成23年度には償還免除型の「第1種特別奨学金」を、また、平成27年度には給付型の「第2種特別奨学金」を新たに創設した。</p> <p>同制度の成果としては、これまでに約3,500人以上の学生及び生徒に対し学資を貸与・給付してきており、高い進学意欲があれば家庭の経済状況に関わりなく進学できる機会を提供してきたことにあり、本市出身者の人材育成や保護者の経済的負担の軽減に大きな役割を果たしてきたと考えている。</p> <p>一方で、課題としては、給付型の「第2種特別奨学金」において、大学への進学を希望する人の応募人数が募集人数を大きく上回る状況が続いており、令和4年度には応募者の約半数を採用することができなかったことから、ニーズに十分応えられていないことが挙げられる。</p>
担当課	学校教育課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 八戸市奨学金について
発言の要旨	(2) 給付型奨学金の拡充について
質問内容	給付型奨学金の拡充について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>令和5年6月定例会で立花議員の「当市の教育行政に対する抱負」についての御質問への答弁において、私は重点的に取り組む4つの施策の一つとして「八戸市奨学金の拡充」を掲げ、今後、給付型奨学金の更なる拡充のため、抜本的な見直しを進めてまいりたいと述べた。</p> <p>当市の給付型奨学金である「第2種特別奨学金」は、返済の必要がない奨学金制度であり、国が制度を創設する前の平成27年度に当市が独自に制度化したもので、高校生及び高等専門学校の1年生から3年生までは月額2万円、大学生、短大生並びに高等専門学校の4年生及び5年生は月額4万円の給付を受けることができ、高校の3年間では計72万円、大学の4年間では計192万円の奨学金を受給することができる。</p> <p>制度創設から昨年度までに、168人に対し総額1億4,578万円の給付を行ってきており、直近3年間では、令和2年度は89人に対し年額2,936万円、令和3年度は98人に対し年額3,270万円、令和4年度は101人に対し年額3,404万円の給付してきた。</p> <p>募集人数について、制度開始当初は、高校卒10人、大学卒2人の計12人であったものを、今年度の募集では高校卒15人、大学卒17人の計32人にまで拡充してきたが、先ほども答弁したとおり、特に大学卒の募集人数が十分ニーズを満たしたものとなっていない。</p> <p>このことから、安定的な運用が続いている「奨学ゆめ基金」の残高の推移を勘案しつつ、これから生まれてくる子どもたちも含め、未来を担う子どもたちが安心して教育を受けられるよう、現在の各種奨学金の統合・再編を土台として、給付型奨学金を一人でも多く受けられるよう募集人員の大幅な拡充を検討しているところである。</p>
担当課	学校教育課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	給付型奨学金の拡充に向けた今後のスケジュールについて伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	令和6年度からの拡充に向けて、条例改正案について検討していく。

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	多くの方が給付型奨学金を受けられるよう、給付型奨学金に係る予算の拡充、成績要件の緩和、奨学ゆめ基金の安定的な運用を図るための寄附金の募集呼びかけ強化等について検討してほしい。

質問者(議員名)	長谷川 ひろゆき 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) STEAM教育について ア 教材の内容と活用方法について
質問内容	教材の内容と効果、学校現場での活用方法について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>当市と長年、協力関係にある、国立研究開発法人海洋研究開発機構、JAMSTEC(ジャムステック)では、次世代を担う人材を育成するために、小・中学校の授業で活用できる海洋STEAM教材の開発を目指しており、市教育委員会では本年3月より、教材作成に全面的に協力してきた。</p> <p>STEAM教育とは、科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、そして数学の頭文字をとったもので、文系・理系の枠を超え、実社会での問題発見や問題解決の力の育成を目指すものである。</p> <p>市教育委員会では、吹上小学校を研究協力校に指定し、定期的にオンライン会議や検証授業を行い、JAMSTECと共同で教材作成を進めてきた。</p> <p>6月末に完成した教材は、児童が使用するテキストとワークシートに加え、教師がモニターに映して見せるレッスンスライド、授業の展開例を記した指導書である。</p> <p>児童用テキストには、写真資料が多く掲載されているだけでなく、二次元バーコードにより、JAMSTECが保有する貴重な映像も視聴できるなど、「海」について興味・関心を高めるような工夫が凝らされている。</p> <p>本教材では、生活と海との関わりや、海の生き物に起きている異変、海洋酸性化などを扱い、「海」に関する課題を子どもたちが見付け、課題解決の方法を考えさせる構成となっている。</p> <p>吹上小学校で行った検証授業でのアンケート結果からは、本教材は、海への興味・関心を高める効果があることに加え、全ての児童が「自分事」として捉えることができる、学習したことを駆使して「正解のない問い」を考える学びにつながる、そして、生涯にわたって、「課題解決のために学ぼう」とする意欲喚起にもなる、といった成果が見られた。</p> <p>各学校では、主に、小学校6年生もしくは5年生を対象として、総合的な学習の時間や、社会科、理科の授業内容に関連させて学習するなど、学校の実情に合わせた活用が想定される。</p> <p>今後の活用については、校長会や各種研修会等を通じて、学習での活用を呼びかけていく。</p> <p>全国の教育現場に向けては、JAMSTECが専用のウェブサイトにて教材を掲載し、各自治体と連携して普及を図る予定であり、すでに幾つかの自治体では、小学校での活用に向けて検討を開始していると聞いている。</p>

担当課	教育指導課
-----	-------



再質問

再質問の有無	有	無
質問内容(概要)		
答弁者	市長	教育長 部長
答弁内容(概要)		

要望

要望の有無	有	無
発言内容(概要)		

質問者(議員名)	長谷川 ひろゆき 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) STEAM教育について イ 意義と今後の展望について
質問内容	STEAM教育の意義と今後の展望について教育長の所見を伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>現代社会は、新型コロナの感染拡大や、世界各地で見られる異常気象の発生、AI技術の驚異的な発達など、私たちは、まさに予測不可能な時代と言える。</p> <p>この先10年、20年の未来を見据えた教育の在り方として、何かを機械的に覚えたり、指示されたとおりに実行したりするのではなく、子どもたち自身が「自ら考え、課題を発見し、協働して解決していく力」を育てることが重要だと考えている。</p> <p>したがって、文系・理系の枠を超えて、実社会での問題発見や問題解決の力を育む、このSTEAM教育に、大きな意義を感じている。</p> <p>国が定める現行の学習指導要領では、STEAM教育について明確に示されていないが、小・中学校の「総合的な学習の時間」において、教科等横断的に取り組む探究的な学習に、その趣旨が含まれている。</p> <p>文部科学省では、令和3年1月の中央教育審議会答申や、令和5年6月に閣議決定された教育振興基本計画において、STEAM教育の推進について触れていることから、次期学習指導要領では、STEAM教育を含めた「教科横断・文理融合の学び」が、重要視されることが予想される。</p> <p>市教育委員会としては、このような国の動きに先駆けて、小・中学校段階においても、STEAM教育の考え方を取り入れながら、「自ら考え、課題を発見し、協働して解決していく力」の育成に努めていく。</p> <p>また、JAMSTECでは、今後も別テーマの「海洋STEAM教材」を作成する予定があるとのことで、引き続き全面的に協力したいと考える。</p>
担当課	教育指導課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	長谷川 ひろゆき 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 八戸市博物館展示リニューアル事業について
質問内容	現在着手している展示リニューアル事業の今後の予定と、これからどのような施設を目指していくのか伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>施設の老朽化、重要文化財の増加、展示・公開・防災に関する国の基準厳格化などに伴い、防災・照明・展示の各設備を更新又は強化することを目的に、今年度からリニューアルの基本設計に着手した。令和6年度に実施設計、7年度以降に工事着手、同時に休館措置をとる、といった流れを想定している。</p> <p>当事業は、八戸市博物館改修検討会議を開催し、専門家から指導助言を受けながら進める。</p> <p>目指す方向性については、1点目は「安心安全で誰もが使いやすい博物館」をハード面の改修コンセプトに掲げ、防災関係の設備更新と、子どもと高齢者や障がい者等への配慮も配慮した改修となるよう検討していく。</p> <p>2点目に「風土に根差す八戸独自の文化を伝える博物館」をソフト面の改修コンセプトに挙げ、最新の研究成果が反映されるよう取り組む。</p>
担当課	博物館



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	<p>文化庁の「博物館は資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及といった活動を一体的に行う施設である」という定義に即して、資料にとってより良い保存環境となるリニューアルにしていきたい。ソフト面では、来館者が能動的に学べる体験ができる仕掛けを、展示構成にいれることを要望する。</p>

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	2 教育行政における暑さへの対応について
発言の要旨	(1) 小中学校の冷房設備について ア 事業の進捗状況について
質問内容	小中学校の冷房設備設置事業の進捗状況について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>市教育委員会では、市立小中学校の普通教室・職員室・校長室に、令和3年度から5年度までの3年間で、国庫補助を活用した冷房設備を設置する事業を進めていて、昨年度までに全体の約3分の2にあたる学校に設置した。</p> <p>今年度は残り約3分の1の学校への設置工事を4月から開始し、当初の予定では8月末の工事完了を想定していたが、新型コロナウイルスの影響やウクライナ紛争などの国際情勢により、昨年引き続き資材の品薄状態が解消されず、特に電気部品について調達に支障をきたしている。</p> <p>このため、工期を最大で令和6年3月まで延長し、今年度工事の学校については冷房設備の使用は来年度からの予定となっている。</p>
担当課	教育総務課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	2 教育行政における暑さへの対応について
発言の要旨	(1) 小中学校の冷房設備について イ 特別教室など全ての部屋に冷房設備を完備する考えについて
質問内容	特別教室等へ冷房を設置する予定について伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>特別教室は、教科ごとに設けられた専用の教室であり、そこでしかできない実習や実験もあることから、これらの教室へ冷房設備を設置する必要性については十分認識している。</p> <p>しかし、普通教室等へ冷房設備を設置したことにより、施設全体の使用可能な電力容量が既に上限に達し、特別教室等に冷房設備を設置する場合には、電源設備の大幅な改修が必要となる。</p> <p>議員提言の特別教室等への冷房設備の設置については、涼しい時期に特別教室で実習、実験を行い、暑い時期に普通教室で授業を行うなどの対応をしながら、他都市の設置状況を注視し、研究していく。</p>
担当課	教育総務課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	特に図書室に最優先して冷房設備を設置してほしい。

質問者(議員名)	三浦 博司
発言事項	2 教育行政における暑さへの対応について
発言の要旨	(2) 夏休み期間について
質問内容	夏休み期間を延長し、そして、時期を後ろに変更をする考えがあるかについて伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>現在、市立小中学校の夏季休業日は、熱中症予防の観点から児童生徒の健康を保持することを目的として、令和3年度に2日間増やし、7月22日から8月23日までと定めている。</p> <p>しかしながら、気象庁・文部科学省の発表によると、来年度以降も今夏のような傾向は続く予想され、今後も児童生徒の熱中症が憂慮される。</p> <p>現在、冷房設備設置事業を進めているが、冷房設備の設置されていない場所での活動や登下校時に児童生徒をいかに守るかという課題は残る。</p> <p>このような状況に鑑み、市教育委員会では、夏季休業日の期間や時期の変更について検討に着手したところである。</p> <p>変更にあたっては、児童生徒の学習や地域活動への参加等に影響を与えることも考えられることから、小中学校長会と緊密に意見交換を行いながら検討を進めていく。</p>
担当課	学校教育課



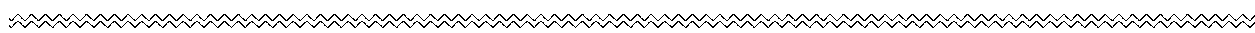
再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	夏休み期間の延長や時期の変更について検討に着手したと聞いて安心した。この実現について要望する。

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(3) 学校における労働安全衛生の管理体制について
質問内容	現場の教員からどのような声が届き、どのような対応がされているか伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>学校における労働安全衛生管理体制については、市教育委員会が各校長を衛生推進者に任命しており、校長管理下において職員の健康の確保と快適な作業環境の形成促進のために、それぞれの学校の実情に応じた措置を講じている。</p> <p>市教育委員会では、8月に開催された校長会において、暑さ対策として行事の延期や中止、授業の打ち切りなど、子どもの命最優先の判断をするよう指導したところであり、各学校で適切な対応をとったことにより、大事に至ることなく2学期を開始することができた。</p> <p>具体的な暑さ対策としては、臨時休校措置、短縮授業、体育祭等の行事日程や授業内容の変更などを行うとともに、日常的にはTシャツとハーフパンツでの登校の推奨、授業中の水分補給、休憩時間の確保などを実施している。</p> <p>やむを得ず臨時休校とした場合には、リモート授業を行うなど、学びの機会の確保に努めている。</p> <p>しかしながら、一部の教員からは、暑さ対策として、夏季休業日の期間を変更してほしい、体育祭を春に変更したことにより、一学期の学校行事が増え、余裕がなくなった、といった声も届いており、学校現場が対応に苦慮していることは承知している。</p> <p>市教育委員会としては、来年度以降も想定外の暑さが続いていくことを念頭に置き、夏季休業日の変更など、教職員の労働環境の改善について検討していく。</p>
担当課	学校教育課



再質問

再質問の有無	有 無
質問内容(概要)	職員や子どもたち、部活動指導者やPTAが、暑い中で大変な思いをしていることについて所感を伺いたい。
答弁者	市長 教育長 部長
答弁内容(概要)	<p>今夏の暑さ対応に当たっては、保護者の皆様、教職員、学校運営に関わる全ての皆様に、大変な御苦勞をおかけしたと感じており、心より感謝申し上げたい。</p> <p>特に、全ての教職員が、子どもたちの命最優先に、適切に対応していただいたことにより、大事に至らなかったことは、感謝の一言に尽きる。</p> <p>今後の教育活動においても、自身の健康も守りながら、子どもたちを見守っていただき、引き続き、子どもたちの命最優先でしっかりと向き合ってほしい。</p>

要望

要望の有無	有 無
発言内容(概要)	現場の教員から届いている声や、教育長の職員や子どもたちへのねぎらいの言葉を聞くことができて良かった。今年度の2学期開始時のような状況(熱中症警戒アラートの発令が続いている状況)の時には、教育長から休校措置などを推奨する働きかけをしてほしい。

